

復興事業に伴う調査

東日本大震災からの復興に向けて、三陸沿岸道路、宮古盛岡横断道路、東北横断自動車道釜石秋田線などの交通網の整備が進んでいます。同時にこの工事に伴う調査も着々と進んでいます。海に近い低地や川のほとり、標高が高く山深い場所など調査地の地形も多岐に渡り、確認した遺構や出土した遺物の年代も様々でした。ここ岩手は、はるか昔から海や山からの豊富な恵みを受取できる住みやすい土地であったことがうかがえます。



三陸道工事現場近くの調査（岩泉町小成）



ロングトレンチ（宮古市田老）



縄文時代の陥し穴（洋野町種市）



住居跡（宮古市田老）

大槌町では、東日本大震災で被災した方々の住宅再建に向けて、地域の高台移転工事が進んでいます。この工事に伴って行われた発掘調査では、調査主体である大槌町教育委員会を岩手県教育委員会が支援する形で調査を進めました。発掘調査に参加していただいた地元の方々への説明会や、中学生の発掘体験授業を開催するなど、地域への情報発信も積極的に行いました。



大槌湾を望む赤浜Ⅲ遺跡



赤浜Ⅱ遺跡での中学生発掘体験

奮闘する派遣職員の方々 1

平成27年度、岩手県教育委員会には、北海道・秋田・静岡・滋賀・兵庫・大分・鹿児島・沖縄から8名が派遣され、復興事業に伴う調査を行いました。派遣職員の方々の確かな知識と豊かな経験を生かして、工事と文化財保護とのバランスを保ちながら、迅速な調査を進めていただきました。



山林での分布調査



土坑の実測



重機による掘削の指示



焼失住居跡の調査



人力での掘削



炎天下での水撒き

奮闘する派遣職員の方々2



空撮を見守る



発掘体験の様子



実測講習会



整理作業



被災地視察



平泉視察